

ナショナルバイオリソースプロジェクト実験動物メダカ

平成15年度 研究運営委員会議事録

日時：平成15年11月25日(火)13時～17時

場所：名古屋大学グリーンサロン東山会議室

出席者：長濱嘉孝(委員長)、井口泰泉、石川裕二、岡本仁、工藤明、近藤寿人、酒泉満、柴田直樹、武田洋幸、堀寛、三谷啓志、山崎由紀子、若松佑子(以上委員)、大坪憲弘(文部科学省研究振興局)、今井義幸、丸山耕一、向井貴彦(以上オブザーバー)、橋本寿史(事務局)

欠席者：なし

挨拶 基礎生物学研究所 長濱嘉孝

議事に先立ち、前回の議事録が承認された。長濱嘉孝研究運営委員会委員長を議長として議事を進行した。

議事

1. NBRPについて 文部科学省研究振興局 大坪憲弘

来年度の文部科学省本プロジェクトメダカ担当官の交代について報告があった。

2. 中核機関事業報告

1) MTAの作成と実施 名古屋大学 若松佑子

MTAと知的財産所有権に関して意見が交換された。引き続きメールによって議論することとした。

2) ホームページの作成、提供可能リストの公開 名古屋大学 若松佑子

3) 米国メダカ・ゼブラフィッシュ系統保存施設の視察報告 名古屋大学 橋本寿史

4) 第2回精子凍結保存法講習会の実施 放射線医学総合研究所 石川裕二

3. メダカ系統の収集・保存・提供の進行状況の報告

1) 近交系 放射線医学総合研究所 石川裕二

2) 野生集団、性決定・性分化突然変異体系統 新潟大学 酒泉満

3) 近縁種 信州大学 柴田直樹

4) 自然突然変異体および透明メダカ 名古屋大学 若松佑子

5) トランスジェニック系統 東京大学新領域 向井貴彦

6) 内胚葉・中胚葉性器官に関する突然変異体 東京大学理学 武田洋幸

7) 初期胚発生に関する突然変異体 科学技術振興事業団 近藤寿人

8) 骨と血管に関する突然変異体 東京工業大学 今井義幸

変異体開発実施機関における変異体の収集において、研究者間で表現型の興味が異なる場合には変異体をやりとりすることで効率化できるという意見が出された。メダカ研究者コミュニティ内での突然変異体の情報交換について、今後も引き続き議論することにした。

4. 環境分野へのメダカの利用 基礎生物学研究所 井口泰泉

5. ゼブラフィッシュのバイオリソース 理化学研究所 岡本仁

6. メダカ系統の定義について 名古屋大学 若松佑子

1) 近交系 放射線医学総合研究所 石川裕二

マウスにおける近交系の定義を中心に説明がなされた。メダカでの定義についてはメールで議論することにした。

2) 系統・遺伝子の命名法 名古屋大学 堀寛

引き続きメールで議論することにした。

7. カルタヘナ議定書について 東京大学(新領域) 向井貴彦

8. 第26回日本分子生物学会年会バイオリソース特別企画「メダカ」について
国立遺伝学研究所 山崎由紀子

次回研究運営委員会を東京工業大学(横浜)で開催することになった。